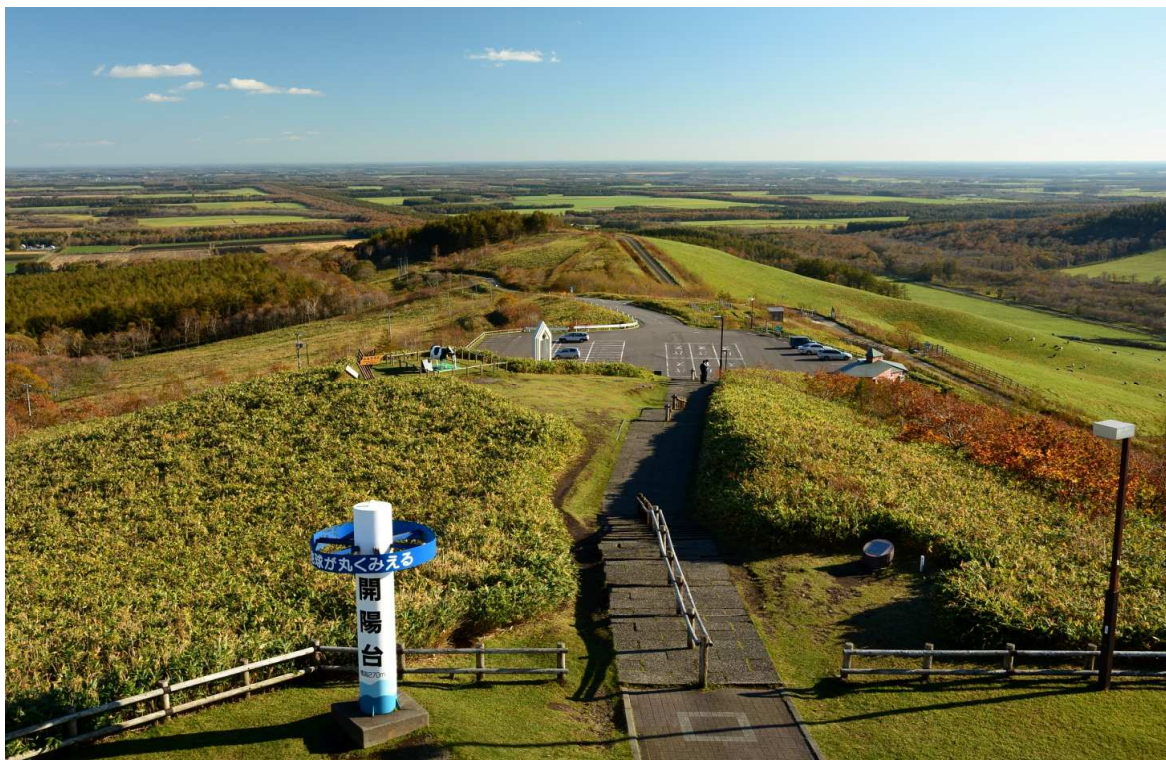


# 町 勢 要 覧

## 資 料 編



北海道標津郡

中 標 津 町

## 中標津町のあゆみ

享和元年	羽太正養、福居芳麿ら標津から標津川沿いに歩いて標茶に出る。タルマップ(現在の市街の川)に泊まる(蝦夷の島踏)	昭和22年 1月	北農経営の計根別厚生診療所開設
		4月	村長選挙、無投票で坂井同氏当選
		5月	村議会議員選挙2代目議長 亀子卓氏就任
安政 4年	標津川沿いの山道(標津-斜里間)を幕府の役人視察のため多数通行す(入北記、協和使役、観国録、竹四郎廻浦日記)	10月	中標津営林署開設
明治 7年	ライマン、養老牛温泉調査	昭和23年 4月	村長選挙 横田俊夫氏2代目村長就任
〃 8年	9月上旬、M・S・ディ中標津地方を三角測量する		中標津農協設立
〃 22年	植民地選定、中標津地方は「中割原野」「モサ原野」「当幌原野」とよばれた区画の部分	5月	計根別農協設立
〃 25年	ボンリウルに鮭鱒孵化根室支場中標津事業所創設(俣落30線北4号)	6月	村立中標津高等学校開校
〃 34年	植民地として区画開放される	8月	村議会議員選挙3代目議長 佐藤甚平氏就任
〃 44年	乾定太郎(徳島県)を団長とする徳静団体の入植により初めて開拓の畝が俣橋地区に入る		北農中標津厚生病院が中標津厚生病院と名称変更
大正 2年	炭焼き小屋に子弟7名を收容し、乾定太郎が寺小屋式の学校を始める	昭和24年 3月	根室生産農業協同組合連合会設立
〃 3年	中標津駅通所設置(取扱人 乾定太郎)	3月	標津森林組合から森林組合が独立
〃 5年	西村武重、養老牛温泉の開発に着手	4月	村立中標津高等学校が道立移管
〃 7年	私立中標津原野教育所開校		計根別小学校東西竹分校開校
	上武佐に補助開業医師設置(拓殖医) 医師 清水賢一郎を採用	6月	中標津村農業共済組合設立
	中標津原野400戸1,731人移住者となる		国民健康保険事業開始
〃 8年	中標津巡査駐在所設置	6月	養老牛小中学校移転改築
	標津・中標津間道路完成	7月	当幌小学校に中学校併置
〃 9年	中標津市街の1条通から4条まで区画整理される	9月	有線放送NRK設置
〃 10年	厚床・中標津間道路開通	12月	養老牛国有林で下山途中の造林人夫18名が猛吹雪で遭難・5名が死亡
〃 12年	中標津移住者世話所設置	昭和25年 1月	町制施行
〃 14年	武佐・開陽地区に乳牛が導入され飼育が始まる		北海タイムス社中標津支局開設
〃 15年	武佐に集乳工場ができる	4月	中標津高等学校計根別分校開校
	植民軌道(厚床・中標津間)開通		中標津保健所開設
〃 15年	開陽郵便局開局	9月	中標津市街都市計画法に指定
	中標津市街地戸数31戸となる		上水道工事に着手
大正末期～昭和初期	経済不況とあいつぐ冷害凶作で離農者が続出する		公営住宅初めて建築
昭和 2年	中標津市街地に北海道農事試験場根室支場の建設が始まる(またたくまに100戸を数え武佐・開陽をしのご内陸地帯随一の活気ある市街を形成する)	11月	中標津電報電話局開局
〃 3年	標津から中標津・計根別・標茶までバス運行開始	12月	厚生連計根別診療所を町へ移譲
〃 4年	植民軌道根室線にガソリンカー運行開始	昭和26年 11月	社会福祉協議会発足
〃 5年	武佐郵便局電信電話事務開始		中標津市街の上水道完成
〃 6年	国鉄標津線着工される		国保養老牛診療所開設
〃 7年	中標津市街132戸となる	昭和27年 2月	中標津郵便局舎新築移転
〃 6～7年	穀物、夏期異常低温により大凶作となり主蓄農業経営の転換をうながす	3月	十勝沖大地震
〃 8年	猛吹雪のため養老牛で児童4名・武佐地区で大人1名・開陽地区で児童2名死亡	4月	有線放送NRK町営に移管
〃 9年	中標津駅開駅		道立中標津家畜保健衛生所開設
〃 11年	標津村役場庁舎の中標津への移転運動起こる	8月	町長選挙無投票 横田俊夫氏2期目就任
〃 12年	標津線・標茶線全線開通	11月	町議会議員選挙 議長 佐藤甚平氏再任
〃 16年	陸軍計根別に飛行場を建設する		北海道さけ・ますふ化場根室支場開設
〃 18年	海軍中標津に飛行場を建設する		中標津高等学校計根別分校が町立中標津計根別高等学校として独立
〃 19年	北海道農業会中標津厚生病院設置	昭和28年 8月	阿寒バス中標津・俣落・開陽・武佐・上武佐間運行開始
〃 20年	計根別・中標津空襲、兵士1、徴用2名死亡		中標津電報電話局舎が完成
	北海道新聞社中標津支局開設	10月	中標津町国民健康保険直営中標津診療所を開設
〃 21年7月	標津村から分村、初代村長坂井同氏、初代議長佐藤甚平氏	12月	道立根室馬鈴薯原種農場設置
	中標津消防団発足		中標津共同墓地用地内に共同火葬場を建設
11月	第1回農地委員会選挙	昭和29年 4月	国保中標津病院移転開設
12月	村役場計根別支所開設		国保俣落診療所開設
	武佐に道立診療所開設	7月	中標津保育園開園
		9月	町役場庁舎移転新築落成
		10月	西竹開拓診療所開設
		昭和30年 4月	道立武佐診療所が町に移管、国保武佐診療所となる
			別海村の豊岡、協和両地区を編入
		9月	国保中標津病院(旧厚生病院)が老朽化により撤去
		10月	中標津・俣落・開陽間にバス運行(阿寒バス)
		昭和31年 3月	標津線で列車転覆 重傷5名、軽傷24名
		4月	町長選挙 尾崎豊氏3代目町長就任
			西竹小中学校開校
		5月	財政再建の指定を受ける
		7月	国保中標津診療所を国保中標津病院に改める
		8月	東西竹分校が西竹小学校の所属となる
			第1回商工まつり開催
			町議会議員選挙4代目議長 鎌倉新一氏就任

昭和32年	9月	名誉町民に佐藤甚平氏			三笠宮殿下御一家来町	
	3月	ジャージー牛導入始まる		4月	武佐小・中併置校となる	
	8月	北日本航空が海軍飛行場跡を使用し、根室一円の遊覧飛行を行う		5月	俣落季節保育所開設 阿寒バス中標津出張所開設	
	10月	町公民館開設		7月	開町20周年 中標津空港開港	
	11月	国保開陽診療所開設			養老牛青年の家組合設立	
	12月	協和駅開設		8月	中標津町農業学園開設	
昭和33年	6月	計根別酪農協組合発足		9月	株式会社中標津振興公社設立	
	10月	農村電話開通			春別(俣橋)地区国営パイロット事業着手	
	11月	NHK放送局開局			日本国内航空、中標津ライン運航休止	
	12月	中標津大橋完成			開陽小学校校舎落成	
昭和34年	1月	計根別小学校西竹分校が若竹小学校に昇格		11月	西竹小学校校舎落成	
	5月	町立高等酪農学校開校			養老牛青年の家完成	
		北日本航空定期飛行開始			開発道路清里・中標津線開通	
昭和35年	3月	融雪災害のため3名死亡(内1名 消防士)			HBCテレビ中継局開局	
	8月	中央通り舗装完成		12月	中標津町母子健康センター開設	
	9月	駅前広場工事完成		昭和41年	1月	計根別中学校落成
	10月	計根別診療所を一時民間施設に移転して業務を継続		2月	中標津中学校屋体 雪害のため倒壊	
	12月	中標津小学校校舎完成			全国町村会から優良町村として表彰を受ける	
		中標津町商工会設立			給食センター開所	
		第2俣落に上水道完成		4月	計根別など季節保育所がへき地保育所と改め開設、旭養老牛へき地保育所が開設	
昭和36年	4月	上標津中学校が計根別中学校に統合 計根別診療所を国保中標津病院計根別分院と改称		5月	学校給食を全校に実施	
	5月	中標津市街地の地番改正条丁目制の実施		6月	横浜航空(株)遊覧飛行事業実施	
		第2俣落季節保育所開設		9月	計根別母と子の家落成	
	8～9月	中標津市街で放火相次ぐ			開陽台クレー射撃場完成	
	10月	中標津高等学校新校舎完成		10月	職業訓練センター落成	
		開栄駅開設			東7条大橋(木橋)完成	
	12月	NHKテレビ中継局完成		11月	国営開拓パイロット春別地区入植開始	
		中標津警察署開設		昭和42年	2月	中標津保健所庁舎落成
		協和小学校新築移転		3月	俣橋中学校閉校、中標津中学校に統合	
昭和37年	3月	開陽台観光開発着手		4月	町立中標津計根別高等学校を中標津農業高等学校に校名変更	
		有線放送NRK廃止		7月	第3回臨時町議会を計根別で行う	
	4月	財政再建団体の指定解除			横浜航空中標津～札幌間直行便就航	
	5月	計根別季節保育所開設		8月	国際航空により遊覧飛行開始	
		中標津児童館完成		9月	開発道路清里・中標津線 中標津地区完成	
	6月	十勝岳大爆発、養老牛、俣落、西竹、開陽、武佐方面に1～2mmの降灰あり		10月	中標津高等学校ラグビー部 国体出場壮行会	
		中標津中学校の新校舎完成		11月	国保中標津病院新築移転	
	8月	開陽台展望台完成			電報電話局局舎落成	
	9月	町立自動車学校開設		12月	釧路開発建設部中標津出張所庁舎落成	
		町営乳牛育成牧場事業開始			俣落小学校校舎落成	
	10月	新公民館完成		昭和43年	1月	計根別小学校校舎屋体落成
昭和38年	2月	中標津機関車駐泊所から出火、ディーゼルカー2両、大型モーターカー1両を焼失			若竹へき地保健福祉館落成	
	3月	町立高等酪農学校閉校		3月	図書館・郷土館開設	
	9月	食肉センター完成		4月	町長選挙 尾崎豊氏4期目町長就任	
	10月	開発道路中標津・清里線着工			国保中標津病院を町立中標津病院に改める	
	11月	消防庁舎移転新築完成			上武佐へき地保育所を武佐に、第2俣落へき地保育所を西竹にそれぞれ統合	
		中標津市街大通り舗装工事完成			養老牛小中学校校舎落成	
	12月	根室職安中標津分庁舎新設		5月	十勝沖地震発生(16日 午前9時49分)	
昭和39年	4月	町長選挙 尾崎豊氏3期目町長就任		8月	町議会議員選挙5代目議長 樋木秀雄氏就任	
	5月	養老牛、開陽、上武佐、西竹に季節保育所開設			名誉町民に鎌倉新一氏	
	8月	町議会議員選挙議長 鎌倉新一氏再任			根室開発幹線、道道釧路・中標津線に昇格	
	6～9月	冷湿害発生、農畜産物被害2億円にのぼる		10月	中標津郵便局新築落成	
	9月	STV中標津中継局完成		12月	北海道百年記念中標津体育館落成	
	10月	中標津空港整備工事完成			根室農業会館落成	
	11月	計根別中学校新築完成			釧路新聞社中標津支局開設	
		開陽小学校新築完成			中標津保育園新築落成	
		冷害を機に学校給食開始		昭和44年	2月	中標津町商工会館完成
		(計根別、中標津を除く全小中学校実施)			4月	中標津東小学校開校
		町立計根別高等学校移転新築完成			9月	町道25線中標津橋完成
	12月	武佐中学校新築完成			10月	標津俣橋大規模草地改良事業着手
		根室支庁中標津合同庁舎新築完成			12月	道道釧路・中標津線国道272号線に昇格
昭和40年	3月	養老牛・計根別停車場線及び中標津空港線道道昇格		昭和45年	1月	武佐・開陽・俣落・養老牛各診療所休止
					3月	中標津町自動車学校開校
						農業振興地域整備計画地域指定となる

	4月	道議補欠選挙出馬のため、尾崎町長辞任 旭養老牛へき地保育所を養老牛に統合	9月	自衛隊連絡事務所開所
	6月	町長選挙 村田雄平氏4代目町長就任	11月	北海道さけ・ます孵化場中標津事業所施設落成 上武佐農村研修所落成
	7月	標津町外2町し尿処理組合設立 町民プール完成	12月	中標津農村研修所落成 人口20,000人突破
昭和46年	12月	中標津東小学校校舎新築落成 俵橋小学校移転及びへき地集会室落成 町立病院が地域センター病院に指定される	昭和53年 3月	豊岡小学校開校
	1月	計根別児童館落成	4月	広陵中学校開校
	4月	当幌中学校が中標津中学校に統合	6月	町長選挙 無投票で村田雄平氏3期目町長就任 養老牛野外スポーツ林オープン
	5月	町有バス運行業務開始	10月	俣落小中学校校舎・体育館落成
	7月	郷土館開館	11月	東児童館オープン
昭和47年	11月	国道272号線全線開通 浄化センター落成	昭和54年 1月	釧路土木現業所中標津出張所新築 泉保育園開園
	12月	町立病院に歯科を開設	2月	名誉町民に尾崎豊氏
	1月	国鉄標津線廃止反対住民大会 特別母と子の家落成 西竹開拓診療所休止	4月	中標津農業高等学校、全日制となる
	3月	当幌小学校閉校、第2俣落小学校閉校	7月	北海道農業開発公社根室支所落成 中標津食肉センター操業開始
	4月	根室北部消防事務組合設立	8月	近隣公園オープン
昭和48年	5月	不定期空の便 運行休止	11月	俣橋生活館落成
	6月	春別パイロット事業竣工	12月	町内バス運行開始
	8月	町議会議員選挙6代目議長 大沼善春氏就任 東9条郵便局開局	昭和55年 1月	中標津青少年会館落成
	12月	当幌研修館落成 俣落母と子の家落成 養老牛温泉街に上水道敷設	3月	計根別診療所休止
	4月	俵橋へき地保育所開設	4月	計根別幼稚園開園
昭和49年	8月	中標津空港、道の管理となる	5月	YS11型機就航
	9月	名誉町民に児玉由一氏	7月	根室支庁税務出張所廃止 商工会館、協同福祉施設落成
	10月	三笠宮殿下来町	8月	町議会議員選挙8代目議長 菊池養之助氏就任
	11月	UHBテレビ、HTBテレビ中標津中継局開局	10月	国勢調査で人口21,187人に 中標津町役場庁舎完成
	12月	東西竹へき地保健福祉館落成 計根別地区営農用水施設完成	昭和56年 3月	道立馬鈴薯原種農場閉場、町立として発足
昭和50年	2月	西竹へき地保健福祉館開館	6月	町史刊行
	4月	下水道事業着工	7月	YS11型 2便化
	5月	町民の森植樹祭	8月	豪雨、台風相次ぐ(道路、河川などに被害)
	6月	町長選挙 村田雄平氏2期目町長就任	9月	西竹小中学校全面改築
	7月	中標津町外2町葬斎組合設立	12月	8,000万円盗難事件発生
昭和51年	8月	商工観光まつりをなかしべつ観光まつりに名称を変更して開催	昭和57年 2月	計根別幼稚園落成式
	10月	日本近距離航空就航 北海道家畜改良事業団道東事業所完成	4月	丸山小学校開校
	11月	21線東橋完成	5月	町長選挙 村田雄平氏4期目町長就任
	12月	開陽へき地保健福祉館開館	9月	計根別公民館オープン(福祉センター)
	1月	北見統計情報事務所庁舎新築完成 老人いこいの家開園(福寿園)	10月	中標津町自動車学校落成
昭和52年	5月	白樺斎場火入	12月	丸山小学校校舎落成
	7月	開町30周年	昭和58年 1月	助役2人制となる
	8月	根室管内乳牛10万頭突破記念式典	3月	YS11型旅客機、中標津空港付近で墜落 火災及び死者なし
	9月	町営野球場オープン	4月	東京事務所開設
	10月	北進台展望台落成 公設地方卸売市場開設	7月	郷土館分館(旧農試陳列館)開館
昭和53年	12月	大規模さけ・ます孵化場が養老牛に完成	8月	養老牛野外スポーツ林で小学校1年生が行方不明
	1月	武佐へき地保健福祉館開館	12月	消防庁舎開庁式
	2月	第1回冬まつり	昭和59年 1月	学校給食センター落成
	3月	上標津小学校閉校	8月	町議会議員選挙議長 菊池養之助氏再任 道議補欠選挙出馬のため村田町長辞任 町長選挙 進藤松吉氏5代目町長就任
	5月	中標津町老人福祉センター落成 計根別コミュニティセンター落成	9月	YS機千歳線就航 道議補欠選挙で村田雄平氏当選
昭和54年	6月	根室北部消防事務組合本部 標津町から移転	12月	東中に、なかよし児童館オープン
	8月	町議会議員選挙7代目議長 菅原栄氏就任 町立歯科診療所落成 清掃センター火入	昭和60年 3月	中標津高等学校定時制課程閉課
	9月	中標津中学校吹奏楽部全国大会出場決定	4月	下水道供用開始、終末処理場完成
	11月	養老牛へき地保育所福祉館開館	5月	北海道さけ・ます孵化場計根別事業場落成
	3月	協和小学校閉校	7月	養老牛青年の家廃止
昭和55年	7月	緑ヶ丘森林公園開園	10月	国勢調査で人口21,675人に
	8月	町営テニスコートオープン	昭和61年 2月	公設地方卸売市場落成
			8月	全日本一輪車マラソン大会
			10月	第2俣落西竹地区農事集会所落成
			昭和62年 1月	保健センター開所
		2月	若竹小学校改築落成	
		9月	皇太子殿下・同妃殿下行啓、中標津空港から根室市へ	
		12月	畜産食品加工研修センター落成式	

昭和63年	1月	計根別郵便局落成	12月	国道272号釧路・中標津間、地域高規格道路計画路線に指定、道道根室・中標津間候補路線に選ばれる	
	3月	デイ・サービスセンター開所	平成7年	1月	公民館、地震災害により取り壊す
	4月	りんどう園落成式 協和へき地保育所開所		3月	中標津営林署が標津営林署に統合、中標津森林管理センターとしてスタート
	8月	町議会議員選挙9代目議長 徳田康二氏就任 人口22,000人目の町民へ記念品贈呈		5月	緑ヶ丘森林公園と正美公園にパークゴルフ場オープン
	9月	町長選挙 無投票で進藤松吉氏2期目町長就任 ミルクボール場オープン式		6月	開陽台、旧展望台に替わり開陽台展望館が完成
	11月	東京中標津会発会		7月	開町50年、空港開港30年、総合文化会館落成記念式典を挙行
昭和64年	1月	天皇崩御		10月	国勢調査で人口22,326人に
平成元年	1月	新元号「平成」となる 名誉町民に大沼善春氏		12月	老人いこいの家(福寿園)閉園
	4月	JR標津線廃止お別れ式 代替バス運行出発式	平成8年	2月	3代目中標津大橋が供用開始
	7月	新空港供用開始		4月	中標津高等養護学校が開校
	11月	中標津小学校校舎引越 札幌中標津会発会		7月	24年ぶりの農業委員会選挙
平成2年	1月	シルバースポーツセンターオープン		8月	町議会議員選挙10代目議長 西根辰美氏就任
	3月	定例会吹雪のため出席議員定数に達せず延会		9月	町長選挙 無投票で新出實氏2期目町長就任
	5月	母子通園センター開園 「降雹」直径4センチ、車や住宅、農作物に大被害		12月	住民票の写しと印鑑登録証明書の自動交付機を総合文化会館に設置
	7月	中標津空港東京ジェット直行便就航	平成9年	3月	中標津空港滑走路2,000メートルに延長供用開始
	8月	中標津高等学校野球部 甲子園初出場 中標津高等学校野球部に初の町民栄誉賞授与		4月	中標津空港2,000メートル滑走路供用開始記念シンガポールチャーター便運航
	10月	計根別市街地の字名地番改正 国勢調査で人口21,900人に		6月	名誉町民に村田雄平氏
	11月	中標津空港から韓国ツアーチャーター便初飛行		7月	中標津-東京線2便化
平成3年	3月	中標津小学校改築落成		12月	「蛙意匠の土器」中標津町指定文化財第1号に 中標津高等学校ラグビー部24年ぶりに全国大会出場
	4月	交通センター供用開始 「空とみどりの交流都市」第4期総合発展計画スタート	平成10年	1月	人口23,000人目の町民へ記念品贈呈
	7月	町立保育園新築落成		2月	中標津空港の年間利用者が20万人突破
	12月	川崎市と都市間交流、保養所契約締結 在宅介護支援センター、緊急通報システム供用開始		4月	中標津町都市計画マスタープランスタート 資源ごみの分別回収始まる
	4月	中標津町観光客入り込み30万人を突破 初のビザ無し渡航、4島民19人来町 寝たきり老人入浴サービス開始		8月	中標津総合在宅ケアセンターがオープン
平成4年	5月	産業廃棄物処理場落成 空港アクセス道路コスモスの里づくり		10月	「翔の広場」公衆トイレがグッドトイレ10(全国)を受賞
	6月	グアム大学と交流		11月	町営球場に夜間照明施設を設置
	7月	川崎市と友好都市締結	平成11年	3月	計根別へき地保育所を閉所し計根別幼稚園に統合 新町立病院オープン
	8月	町議会議員選挙(無投票)		4月	計根別市街地区の下水道供用開始
	9月	町長選挙 新出實氏6代目町長就任 文化体育振興協会設立		6月	武佐郵便局を廃局、簡易郵便局に
	10月	温水プール落成		7月	計根別児童会館オープン
	11月	丸山スカイプロムナード完成		9月	「青少年の命を守る住民大会」開催 99ツール・ド・北海道国際大会第2ステージ開催
平成5年	1月	釧路沖地震発生、町内住宅や商店などに大きな被害 わんぱく児童館落成	平成12年	2月	法務局中標津出張所開庁
	2月	武道館落成		3月	中標津経済センター完成
	4月	地域共同作業所「森の家」開所		4月	介護保険法スタート
	7月	中標津-東京中型ジェット機就航		7月	道立「ゆめの森公園」一部オープン
	8月	泉運動広場完成		8月	「なかしべつ観光まつり」を「なかしべつ夏祭り」に名称変更
	11月	中標津高等学校校舎改築落成		9月	町議会議員選挙11代目議長 西澤雄一氏就任
	12月	国道272号バイパス完成 東経145° 子午線にモニュメント設置		10月	町長選挙 新出實氏3期目町長就任
平成6年	5月	正美公園完成		10月	情報公開制度開始 国勢調査で人口23,179人に
	6月	中標津と韓国扶餘市の両ロータリークラブが姉妹都市提携調印	平成13年	11月	中標津農業高等学校校舎増改築完成
	9月	中標津町交流センターオープン 森林公園パークゴルフ場完成		1月	ここにこ児童館落成
	10月	北海道東方沖地震発生、マグニチュード8.1、震度6の烈震に見舞われ甚大な被害(重傷5名、軽傷112名、被害総額約95億円)		3月	開陽中学校閉校
	11月	正美公園パークゴルフ場完成		4月	養老牛浄化センター供用開始 第5期総合発展計画スタート 馬鈴薯原種農場農協へ移管 森総理大臣、北方領土視察のため来町
				7月	道立ゆめの森公園全面オープン
				10月	町にBSE対策本部を設置 「根釧台地の格子状防風林」が北海道遺産に認定
			平成14年	1月	「きれいな街にする条例」を可決
				3月	中標津警察署新庁舎が完成
				11月	ごみ最終処分場(当幌地区)完成
			平成15年	4月	総合福祉センター「プラット」がオープン 道立根釧農業試験場の新庁舎が完成 27年ぶりにごみ料金改定

	9月	中標津郵便局が新事務所に移転新築	8月	中標津中学校野球部 全国中学校軟式野球大会準優勝
	12月	運動公園のスケートリンクオープン	平成27年 3月	中標津-台北チャーター便就航 大地みらい信用金庫りんどう支店オープン 西竹小学校閉校 武佐へき地保育所閉所
平成16年	3月	丸山小学校バレーボール少年団全国大会準優勝	4月	計根別学園(小学部・中学部)開校、新校舎落成
	7月	北海道立水産孵化場道東支場設置	5月	中標津町児童センター「みらいる」オープン
	8月	町長選挙 西澤雄一氏7代目町長就任 町議会議員選挙12代目議長 萬和男氏就任	6月	FDA(フジドリームエアライン)チャーター便就航
	10月	複合商業施設「フレスポ中標津」オープン 世帯数が1万世帯を突破	7月	開町50周年タイムカプセル開封式
	11月	羅臼町と合併の可否を問う住民投票、反対6割に 中標津高等学校合唱部 全国大会で金賞受賞 人口24,000人に	10月	日本体育大学と体育・スポーツ振興に関する協定を締結 国勢調査で人口23,774人に
	12月	羅臼町との合併を正式に断念	11月	俵橋小学校開校100周年記念式典を挙行
平成17年	3月	養老牛中学校、西竹中学校閉校	平成28年 8月	第60回なかしべつ夏祭り開催
	5月	道立ゆめの森公園の来園者が100万人を突破 市外局番が「01537」から「0153」に変更	9月	町長選挙 西村穰氏9代目町長就任
	7月	東武サウスヒルズ オープン 総合文化会館オープン10周年	10月	中標津町総合体育館(330°アリーナ)完成
	10月	国勢調査で人口23,792人に	平成29年 1月	管内1市3町と根室管内市町連携に関する協定書を調印
平成18年	2月	字中標津地域の字名地番改正を実施	2月	中標津農業高校「計根別食育学校」が総務省ふるさとづくり大賞団体表彰を受賞
	3月	若竹小学校、俣落中学校閉校	3月	武佐小学校閉校
	4月	町有施設の指定管理者制度開始	6月	東京中標津会創立30周年ふるさと訪問ツアー実施
	7月	中標津-東京線 利用者150万人突破	9月	中標津空港発着の航空機を利用した初の北方領土特別墓参が実施される
	8月	第50回なかしべつ夏祭り開催	12月	札幌学院大学との相互協力に関する協定を調印 中標津高等学校ラグビー部 全国高等学校ラグビーフットボール大会出場
	11月	大地みらい信用金庫中標津支店 新店舗に移転新築	平成30年 2月	平昌冬季オリンピック 男子スピードスケート長谷川翼選手出場
平成19年	6月	運動公園第1球技場供用開始	3月	平昌冬季パラリンピック パラアイスホッケー須藤悟選手出場 男子スピードスケート長谷川翼選手、パラアイスホッケー須藤悟選手に町栄誉賞授与 俵橋へき地保育所閉所
	7月	ラグビー日本代表候補が町運動公園で強化合宿を実施		
	10月	雪印乳業(株)なかしべつ新工場竣工 上武佐地区の北村家住宅主屋(旧土田旅館)が当町初の登録有形文化財(建造物)に選ばれる		
平成20年	4月	中標津空港ターミナル リニューアルオープン フクハラ中標津店オープン		
	5月	第59回北海道植樹祭inなかしべつ開催		
	6月	運動公園第2球技場供用開始		
	8月	FMなかしべつ放送開局		
	9月	町長選挙 小林実氏8代目町長就任 ラグビー日本代表の遠藤幸祐選手に町栄誉賞授与		
	12月	東京農業大学生産物産業学部と相互協力協定を調印		
平成21年	6月	映画「釣りバカ日誌20ファイナル」のロケが当町を含む道東で行われる		
	7月	第1回なかしべつ330° 開陽台マラソン開催		
	8月	北海道銀行中標津支店オープン		
	12月	計根別駐在所移転新築		
平成22年	7月	中標津-丘珠便が廃止され新千歳便に集約		
	9月	タワラマップ川親水広場完成		
	10月	国勢調査で人口23,982人に		
	12月	中標津東小学校新校舎落成		
平成23年	4月	第6期総合発展計画スタート 中標津町共生型交流センター開設		
	7月	ごみ処理手数料改正		
	10月	中標津町自治基本条例可決		
平成24年	3月	養老牛小学校閉校		
	9月	町長選挙 無投票で小林実氏2期目町長就任		
平成25年	3月	暴風雪災害のため5名死亡 俣落小学校閉校		
	5月	雪印メグミルク(株)なかしべつ工場と災害協定締結		
平成26年	1月	北海道日本ハムファイターズ「陽 岱鋼 選手」「佐藤賢治 選手」が2014年北海道179市町村応援大使で中標津町の応援大使に決定		
	3月	開陽小学校、武佐中学校閉校		
	7月	中標津町総合文化会館20周年記念事業「松竹大歌舞伎中標津公演」開催		